

# 講義4 学童クラブの共通評価項目に ついて①

評価者フォローアップ研修(共通コース)

令和6年4月開催

東京都福祉サービス評価推進機構

# 講義内容

- 1 学童クラブの共通評価項目の策定  
について
- 2 事業評価共通評価項目(カテゴリー6)  
について
- 3 利用者調査について

# **1 学童クラブの共通評価 項目の策定について**

# (1)策定の背景

## ○平成19年10月「放課後児童クラブガイドライン」(※)策定

- ・放課後児童クラブとして望ましい運営内容を目指すためのガイドラインを国において初めて策定

(※)放課後児童クラブ・・・児童福祉法における「放課後児童健全育成事業」の通称

東京都では「東京都学童クラブ事業」として実施しており、東京都福祉サービス第三者評価は「学童クラブ」としています。

## ○平成24年4月 児童福祉法改正

- ・設備及び運営の基準について国が省令で基準を定め、市町村で条例制定を義務化

## ○平成26年4月「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」制定

- ・全国的な一定水準の質の確保に向けた取組の推進
- ・各区市町村が条例で基準を定めて事業を実施  
(都内の学童クラブは令和4年5月1日現在1,930事業所)

## ○平成27年3月「放課後児童クラブ運営指針」策定

- ・学童クラブにおける子どもの遊び及び生活の環境や運営内容の水準を明確化
- ・事業の安定性及び継続性の確保を図る
- ・各区市町村は運営指針に基づき学童クラブの事業運営について必要な指導、助言等を行う

## ○令和3年3月「放課後児童クラブ 第三者評価基準ガイドライン」策定

- ・令和3年4月から受審費にかかる財政支援開始
- ・既に国基準により第三者評価を受審している区市町村もあり

## (2)検討の経過

|            |  |
|------------|--|
| 児童小ワーキング   | <ul style="list-style-type: none"><li>・有識者、事業者代表、評価機関代表、行政機関</li><li>・3回開催(令和5年7月、8月、9月)し、共通評価項目の検討、項目案の取りまとめを行った。</li></ul> |
| 児童ワーキング    | <ul style="list-style-type: none"><li>・10月開催</li><li>・小ワーキングで取りまとめた共通評価項目案について検討、意見の取りまとめを行った。</li></ul>                     |
| 評価・手法ワーキング | <ul style="list-style-type: none"><li>・11月開催</li><li>・児童ワーキングで取りまとめた共通評価項目案について検討、意見の取りまとめを行った。</li></ul>                    |
| 評価・研究委員会   | <ul style="list-style-type: none"><li>・12月開催</li><li>・評価・手法ワーキングで取りまとめた共通評価項目案について承認を得た。</li></ul>                           |

### (3)策定にあたっての観点

|   |  |
|---|--|
| ① | 「放課後児童クラブ運営指針」及び「放課後児童クラブ運営指針解説書」の内容との整合を図り、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」、「放課後児童クラブ 第三者評価基準ガイドライン」を踏まえた |
| ② | 学童クラブの特性及び東京都学童クラブの実態を踏まえた   |
| ③ | 評価・研究委員会、ワーキング委員の意見を踏まえた   |

## (4) 共通評価項目の検討の範囲等

### ア 対象サービスの範囲

- ・児童福祉法及び「設備及び運営基準」に基づき事業を実施する学童クラブ

### イ 検討した共通評価項目

- ・組織マネジメント項目(カテゴリー1～5及び7)
- ・サービス項目(カテゴリー6)
- ・利用者調査



# (5)主な検討の概要

## ア 事業評価共通評価項目について

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 組織マネジメント<br>(カテゴリー1～5及び7) | <ul style="list-style-type: none"><li>・「放課後児童クラブ運営指針」の求める重要な内容を多く含む<br/>⇒これらの項目を評価することが、学童クラブのサービスの質の向上には重要</li><li>・<u>組織マネジメント項目すべてを取り込んで評価を実施</u></li></ul> |
| サービス提供のプロセス(カテゴリー6)       | <ul style="list-style-type: none"><li>・6つのサブカテゴリーから評価する構成(他サービスと同様)</li></ul>  |
| 利用者調査                     | <ul style="list-style-type: none"><li>・「サービスの提供」、「安心・快適性」、「利用者個人の尊重」、「不満・要望への対応」の4つのフレーム構成(他サービスと同様)</li></ul>   |

## イ カテゴリー6の構成について(サービス提供のプロセス)

### 【カテゴリー6】

|            |                    |
|------------|--------------------|
| 6-1        | サービス情報の提供          |
| 6-2        | サービスの開始・終了時の対応     |
| 6-3        | 個別状況の記録と計画策定       |
| <u>6-4</u> | <u>サービスの実施</u>     |
| 6-5        | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 |
| 6-6        | 事業所業務の標準化          |

### 【サブカテゴリー4】

|              |                                       |
|--------------|---------------------------------------|
| 6-4-1        | 子ども一人ひとりの発達状態に応じた援助                   |
| <u>6-4-2</u> | <u>子ども一人ひとりへの育成支援と集団全体を豊かにするための工夫</u> |
| 6-4-3        | 日常の変化を持たせる行事等の実施                      |
| 6-4-4        | 子どもの主体性の尊重                            |
| <u>6-4-5</u> | <u>学校等との連携</u>                        |
| 6-4-6        | 子どもがおやつを楽しめるような援助                     |
| 6-4-7        | 子どもが心身の健康を維持できるような援助                  |
| 6-4-8        | 保護者が安心して子育てができるような支援                  |
| 6-4-9        | 地域と連携した子どもの生活の幅を広げる取組みの実施             |

## (6)評価手法について

|                              |  |  |
|------------------------------|--|--|
| 評価の方法                        | 組織マネジメント項目とサービス項目をすべて取り込んだ標準の評価手法により実施する |  |
| 評価実施に係る人数                    | 3名以上の評価者が一貫して行う                          |  |
| 利用者調査                        | 調査対象                                     | 利用者本人(児童)  |
|                              | 調査方法                                     | アンケート方式により実施するが、利用者が施設等に滞在している時間内であれば聞き取り方式の実施も可能とする |
| 任意に実施する共通評価項目(組織マネジメント項目の一部) | なし                                       |  |

# 令和6年度組織マネジメント 共通評価項目(全サービス共通)

## 1 リーダーシップと意思決定

### 1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

#### 1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している

1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている

2 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている

### 2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

1 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている

2 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している

### 3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

1 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている

2 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している

3 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている

## 2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

### 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

#### 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

1 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している

2 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している

3 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している

4 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している

5 事業所の経営状況を把握・検討している

6 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している

### 2 実践的な計画策定に取り組んでいる

#### 1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画ひ単年度計画を策定している

1 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している

2 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している

3 策定している計画に合わせた予算編成を行っている

### 2 着実な計画の実行に取り組んでいる

1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している

2 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる

## 3 経営における社会的責任

### 1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

#### 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

1 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる

2 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している

### 2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

#### 1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

1 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている

2 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある

#### 2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

1 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している

2 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている

### 3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

#### 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けに取り組んでいる

1 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる

2 ボランティア、実習生及び見学者・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している

#### 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

1 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている

2 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している

3 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる

## 4 リスクマネジメント

### 1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

#### 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

1 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている

2 優先順位の高さに応じて、リスクに差し必要な対策をとっている

3 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している

4 リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる

5 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる

### 2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

#### 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

1 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている

2 収集した情報は、必要なときに活用できるように整理・管理している

3 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている

4 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している

## 5 職員と組織の能力向上

### 1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

#### 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

1 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している

2 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる

### 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

1 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている

### 2 事業所の求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している

1 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している

### 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

1 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している

2 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している

3 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している

4 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている

### 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

1 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている

2 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる

3 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる

4 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている

### 2 組織力の向上に取り組んでいる

#### 1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

1 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している

2 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている

3 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる

### 7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

#### 1 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

# 令和6年共通評価項目(6. サービス提供のプロセス)

## 1 サービス情報の提供

### 1 子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している

- 1 子どもや保護者が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
- 2 子どもや保護者の特性を考慮し、提供情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
- 3 事業所の情報を、行政や保育所、幼稚園等に提供している
- 4 子どもや保護者の問い合わせや見学等の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している

## 2 サービスの開始・終了時の対応

### 1 サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、理解を得ている

- 1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している
- 2 サービス内容や利用者負担金等について、子どもや保護者の理解を得るようにしている
- 3 サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している

### 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

- 1 サービス開始時に、子どもの援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
- 2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している
- 3 サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている
- 4 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)の受入れに向けた配慮及び環境整備を行っている
- 5 サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、生活の連続性に配慮した支援を行っている

## 3 個別状況の記録と計画策定

### 1 子どもの視点に立った育成支援の目標に沿って育成支援の計画を作成している

- 1 育成支援の計画は、目標に沿って年間を見通して作成している
- 2 育成支援の計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、援助の過程を踏まえて作成、見直しをしている
- 3 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)に対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている
- 4 育成支援の目標や計画について保護者の理解を得られるように説明している

### 2 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

- 1 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある
- 2 育成支援の計画に沿った援助の内容について具体的に記録している
- 3 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)については一人ひとりの子どもの状況や援助の内容を具体的に記録している

### 3 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

- 1 育成支援の計画の内容や記録を、職員すべてが共有し、活用している
- 2 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている
- 3 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている

## 4 サービスの実施

### 1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じて援助している

- 1 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで援助している
- 2 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め、お互いを尊重しながら協力し合い、関係を豊かに作り出せるよう援助している
- 3 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか等)に対し、子どもの意見に耳を傾け、感情の高ぶりを和らげること等ができるよう援助している
- 4 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)が、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している

### 2 日常の援助を通して、子ども一人ひとりの生活や遊びと集団全体の生活が豊かに展開されるよう工夫している

- 1 子どもの自主性、自発性を尊重し、発達段階にふさわしい遊びと生活を送ることができるよう環境を工夫している
- 2 子どもが集団活動に主体的に関われるよう、援助している
- 3 生活や遊びを通して日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるよう、援助している

### 3 日常の活動に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

- 1 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している
- 2 子ども同士が意見を出し合いながら企画や活動をつくり上げていく機会を設けている
- 3 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている

### 4 子どもの主体性を尊重し、学童クラブでの生活が楽しく、快適になるような取り組みを行っている

- 1 子どもが自ら進んで学童クラブに通い続けられるよう援助している
- 2 共通する生活時間の区切りをつくり、子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるよう援助している
- 3 子どもが安心して活動できるよう、状況に応じて室内の環境を工夫している
- 4 【新・放課後子ども総合プラン】「都型学童クラブ実施要綱」に基づき放課後子供教室と一体型で実施、または連携して実施する場合  
子どもが放課後子供教室の活動プログラムに参加しやすいように連携を取りながら援助している

### 5 子どもが日々の生活を円滑に過ごせるよう、学校等と密に連携を図っている

- 1 子どもが学童クラブでの生活を円滑に過ごせるよう、学校との情報交換や情報共有等密に連携して援助している
- 2 不登校など課題を抱える子どもについて、学校と密に情報共有しながら子どもの気持ちに配慮して援助している
- 3 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)や養育環境で特に配慮が必要な子どもの援助にあたっては、関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって行っている

### 6 子どもがおやつを楽しめるよう援助している

- 1 子どもが楽しく、落ち着いておやつをとれるような雰囲気作りに配慮している
- 2 子どもの来所時間や夕食の時間帯等を考慮して提供時間や内容、量等に工夫を凝らしている
- 3 子どもの食物アレルギーの状況に応じたおやつを提供している

### 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

- 1 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるよう援助している
- 2 医療的ケアが必要な子ども等に、専門機関等との連携に基づく対応をしている

### 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

- 1 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている
- 2 保護者同士が交流できる機会を設けている
- 3 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている
- 4 子どもの様子や発達の状況について、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている
- 5 子どもの出席の確認など、保護者と協力して安全を確保する取り組みを行っている

### 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

- 1 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している
- 2 学童クラブの行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが地域の子どもや大人と交流できる機会を確保している

## 5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

### 1 子どものプライバシー保護を徹底している

- 1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている

### 2 子どものプライバシーに配慮して援助している

### 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

- 1 日常の援助の中で子ども一人ひとりを尊重している
- 2 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮して援助している
- 3 学童クラブ内の子ども間の暴力・いじめ等が行われることのないよう組織的に予防・再発防止を徹底している

## 6 事業所業務の標準化

### 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

- 1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
- 2 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている
- 3 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している

### 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

- 1 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている
- 2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども・保護者等からの意見や提案を反映するようにしている

## カテゴリー6

|          |      |                    |    |
|----------|------|--------------------|----|
| サブカテゴリー1 |      | サービス情報の提供          |    |
|          | 評価項目 |                    | 1  |
|          | 標準項目 |                    | 4  |
| サブカテゴリー2 |      | サービスの開始・終了時の対応     |    |
|          | 評価項目 |                    | 2  |
|          | 標準項目 |                    | 8  |
| サブカテゴリー3 |      | 個別状況の記録と計画策定       |    |
|          | 評価項目 |                    | 3  |
|          | 標準項目 |                    | 10 |
| サブカテゴリー4 |      | サービスの実施            |    |
|          | 評価項目 |                    | 9  |
|          | 標準項目 |                    | 29 |
| サブカテゴリー5 |      | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 |    |
|          | 評価項目 |                    | 2  |
|          | 標準項目 |                    | 5  |
| サブカテゴリー6 |      | 事業所業務の標準化          |    |
|          | 評価項目 |                    | 2  |
|          | 標準項目 |                    | 5  |
| 合計       | 評価項目 |                    | 19 |
|          | 標準項目 |                    | 61 |



# 令和6年共通評価項目(利用者調査)

| 共通<br>フレーム | 共通評価項目   | 標準調査票 質問文  | 項目のねらい   | 関連する<br>項目              |
|------------|--|--|--|-------------------------|
| サービスの提供    | 1. 学童クラブでの活動は楽しく、興味を持てるものとなっているか                   | (学童クラブ名)での生活や遊びは楽しく、興味を持てますか                                   | ・学童クラブでの取り組みが、子どもが自ら進んで通い続けられるものになっているかを確認するために、学童クラブでの活動や遊びを、子どもが楽しんでいるかを調査します。                             | 6-4-4                   |
|            | 2. 職員は話し相手や、相談相手になってくれるか                           | 職員はあなたが話したいときに話を聞いてくれたり、相談にのってくれたりしますか                         | ・子どもが話したい時に、相談にのったり、話を聞いてくれると感じているかを調査します。   | 6-4-1                   |
|            | 3. おやつの時間が楽しいひとときになっているか                           | (学童クラブ名)でのおやつ時間は楽しいですか   | ・日常生活の中で重要であるおやつ時間を、子どもが楽しいひとときと感じているかを調査します。  | 6-4-6                   |
|            | 4. 学童クラブでの約束ごと、活動内容について話し合える機会を設け、職員は意見を尊重してくれているか | (学童クラブ名)での約束ごと、行事、イベントなどについて話し合う際、あなたの“こうしたい”という考えを職員は聞いてくれますか | ・子どもが学童クラブで主体的に過ごしているかどうか、具体的には学童クラブの生活の約束ごとや、行事等の企画について、子どもの意見が尊重されているかを調査します。                              | 6-4-2<br>6-4-3          |
|            | 5. 職員から学童クラブの約束ごとの説明を受けているか                        | (学童クラブ名)の約束ごとがどうして大切なのか、職員はあなたが分かるように伝えてくれましたか                 | ・学童クラブの約束ごとが子ども一人ひとりの状況(年齢や特性等)に配慮した納得できる説明の基に実施されているかを調査します。  | 6-2-1<br>6-4-2          |
| 安心・快適性     | 6. 学童クラブ内の清掃、整理整頓は行き届いているか                         | あなたは、(学童クラブ名)のみんなが使う場所がかたづいていてと思いますか                           | ・学童クラブ内の清掃、整理整頓等、清潔感が求められる場所として、トイレ・おやつスペースなどに特に着目して調査します。   | 6-4-4                   |
|            | 7. 職員の接遇・態度は適切か                                    | あなたは、職員の言葉づかい、名前の呼び方や態度、服装などがきちんとしていると思いますか                    | ・職員の接遇・態度として、服装や身なり、言葉遣い、態度について、子どもが適切だと感じるかを調査します。  | 6-5-1<br>6-5-2          |
|            | 8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか                          | あなたがけがをしたり、具合が悪くなったときに、安心できるように職員は助けてくれていると思いますか               | ・突発的な病気やけがに限らず、配慮すべき慢性的な病気やけがも含め、職員の対応が信頼できるかを調査します。   | 6-4-7                   |
|            | 9. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか                         | あなたは、たとえば子ども同士のけんかやいじめ等があった場合に職員は助けてくれていると思いますか                | ・子ども同士のトラブルは、本人だけでなく、他の子ども間のいさかいやいじめ等も含め、実際にそういった場面での職員の対応が信頼できるかを調査します。                                     | 6-4-1                   |
| 利用者個人の尊重   | 10. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか                          | あなたは、職員があなたの気持ちを聞いてくれて、大切にしてくれていると思いますか                        | ・子どもの考えや思いを受けとめ、それらを踏まえて行われる職員の対応に着目して調査します。   | 3-2-2<br>6-5-2          |
|            | 11. 子どものプライバシーは守られているか                             | あなたは、他の人に知られたいくないことや内緒の話などの秘密を職員が守ってくれていると思いますか                | ・プライバシーについては、他の人に見られたいくないこと、聞かれたいくないこと、知られたいくないことに対する職員の配慮に着目して調査します。  | 6-5-1                   |
| 不満・要望への対応  | 12. 子どもの不満や要望は対応されているか                             | あなたが困ったり、“いやだな”“してほしいな”と思ったことを伝えたとき、職員はよくなるようにしてくれていると思いますか    | ・不満や要望の言いやすさにも留意し、職員が子どものニーズを受け止め、丁寧な対応をしているかに着目して調査します。<br>・対応については、要望に応えられない場合にも、きちんと説明が行われているかに着目して調査します。 | 2-1-1<br>3-2-1<br>6-5-2 |
|            | 13. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか           | あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか         | ・外部の苦情窓口として、子どもの苦情や相談に対して何らかの対応を行うことができる人物や組織(第三者委員、民生委員、各種相談センター等)についての情報が提供されているかを調査します。                   | 3-1-1<br>3-2-1          |

## 2 事業評価 共通評価項目 (カテゴリー6)の説明①



## (1)障害のある子どもについて

|         |   |
|---------|---|
| 6-2-2-4 | 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)の受入れに向けた配慮及び環境整備を行っている                        |
| 6-3-1-3 | 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)に対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている |
| 6-3-2-3 | 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)については一人ひとりの子どもの状況や援助の内容を具体的に記録している            |
| 6-4-1-4 | 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)が、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している                |

- ・発達障害について診断はないが丁寧な対応が必要な子どもが多く、明確な診断がない子どもについても職員を加配して支援を行っている  
⇒「障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)」と明記
- ・障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)について、個別のニーズに応じた丁寧な対応が必要  
⇒全体の計画や記録とは別に、個別支援計画の作成や一人ひとりの記録作成についての項目を設定

## (2)6-1「サービス情報の提供」

|   |  |
|---|--|
| 1 | 子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している                   |
| 1 | 子どもや保護者が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している               |
| 2 | 子どもや保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている    |
| 3 | 事業所の情報を、行政や保育所、幼稚園等に提供している                   |
| 4 | 子どもや保護者の問い合わせや見学等の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している |

### 項目解説書より

○障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)が学童クラブを利用できる旨の周知に際しては、学童クラブにおける受入れ体制や利用方法等について、適切に情報を発信することが大切です。

○次年度に入学予定の子どもがいる家庭のためには、学校の入学説明会や就学時健康診断で案内を配布するなどして、情報を入手しやすいよう工夫しているかに着目します。なお、区市町村が民間に運営を委託している学童クラブは、子どもや保護者、保育所、幼稚園等への情報提供を区市町村が実施している場合もあります。

### (3)6ー2「サービスの開始・終了時の対応」

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 1 サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、理解を得ている      |  |
| 1                                     | サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している      |
| 2                                     | サービス内容や利用者負担金等について、子どもや保護者の理解を得るようにしている            |
| 3                                     | サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している               |
| 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている |  |
| 1                                     | サービス開始時に、子どもの援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している      |
| 2                                     | 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している                |
| 3                                     | サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている                            |
| 4                                     | 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)の受入れに向けた配慮及び環境整備を行っている |
| 5                                     | サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、生活の連続性に配慮した支援を行っている      |

## 項目解説書より

- 利用開始時には、学童クラブでの生活やルールなどを子どもが理解できるように丁寧に説明し、理解を得ることが重要です。
- 新1年生については、学童クラブに入所するまでの間に空白期間が生じないよう、4月1日からの受入れを可能としているかなど、利用開始前に子どもや家庭の状況、保護者のニーズ及び学童クラブでの過ごし方について十分に保護者等と情報交換し、支援を行っているかを確認します。
- 6-2-2-4の「環境整備」とは、個々の障害者に対する合理的配慮が的確に行えるよう、不特定多数の障害者を主な対象として行う事前の改善措置のことをいい、設備面(ハード面)だけでなく、職員研修やマニュアル整備も含まれます。「受け入れに向けた配慮」とは、障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)の状況に応じて適切なアセスメントや、保護者との話し合いを行ったうえで、個別に実施される合理的配慮のことをいい、一般的なバリアフリーの「環境整備」とは異なります。「受け入れに向けた配慮(合理的配慮)」について話し合い、解決に至らなくてもお互いに障壁(バリア)の解消に向けて努力をするということが重要です。

## (4)6—3「個別状況の記録と計画策定」

### 1 子どもの視点に立った育成支援の目標に沿って育成支援の計画を作成している

|   |   |
|---|---|
| 1 | 育成支援の計画は、目標に沿って年間を見通して作成している  |
| 2 | 育成支援の計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、援助の過程を踏まえて作成、見直しをしている                   |
| 3 | 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)に対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている |
| 4 | 育成支援の目標や計画について保護者の理解を得られるように説明している  |

### 2 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

|   |  |
|---|--|
| 1 | 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある                                   |
| 2 | 育成支援の計画に沿った援助の内容について具体的に記録している                                 |
| 3 | 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)については一人ひとりの子どもの状況や援助の内容を具体的に記録している |

### 3 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

|   |  |
|---|--|
| 1 | 育成支援の計画の内容や記録を、職員すべてが共有し、活用している                |
| 2 | 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている |
| 3 | 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている      |

### 6-3-1

子どもの視点に立った育成支援の目標に沿って育成支援の計画を作成している

#### 【評価項目のねらい】

子どもの実態、子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)をどのように取り入れ育成支援の計画を作成しているかについて評価します。また、障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)の個別的な計画を作成するしくみがあるかについても評価します。

|   |   |
|---|---|
| 1 | 育成支援の計画は、目標に沿って年間を見通して作成している  |
| 2 | 育成支援の計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、援助の過程を踏まえて作成、見直しをしている                   |
| 3 | 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)に対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている |
| 4 | 育成支援の目標や計画について保護者の理解を得られるように説明している  |

## 項目解説書より

○育成支援の計画の作成にあたり、子どもの実態や子どもを取り巻く状況（保護者の意向も含む）の変化について把握し、計画にどのように反映させるかなど組織としての基本的姿勢の確保に着目します。

○運営指針では障害や発達面等で固有の援助を必要としている場合は、子どもの状況に応じた適切な支援を考える必要があるとされています。障害のある子ども（発達面で特に配慮が必要な子どもを含む）の援助を計画的に行っていくためには、学童クラブにおいて、一人ひとりについて個別的な計画を作成することが大切です。どのような場合に個別的な計画の作成を行うかということについて、学童クラブとしてどのように考えているか着目します。（例えば、①診断や手帳がある子どもについて作成する。②加配職員を配置している子どもについて作成する。③診断等の有無に限らず固有の援助が必要な子どもについて作成する。④固有の援助を必要とする個々の子どもについて検討し作成を判断する。など）

## 6-3-2

### 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

#### 【評価項目のねらい】

具体的なサービス提供内容や、子どもや保護者の状況の変化等の必要な情報を具体的に記載するために、どのように体制を整備し、機能させているのかについて評価します。

|   |  |
|---|--|
| 1 | 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある                                   |
| 2 | 育成支援の計画に沿った援助の内容について具体的に記録している                                 |
| 3 | 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)については一人ひとりの子どもの状況や援助の内容を具体的に記録している |



## 項目解説書より

- 子ども一人ひとりとの日常的な関わりによって得た情報や変化等、子どもにとって適切なサービスを提供するために『必要な情報を記載するしくみ』が『組織として定められているか』、また『記録内容の的確性や情報の活用状況』を『検証する手段があるか』を確認します。
- 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)一人ひとりについて『子ども(や保護者)の状態の変化』や『職員の援助状況』などの内容を『具体的に記録化する方策』を『どのように定め』、『記録しているか』を確認します。
- 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)の記録については、大まかな記載のみで終わらず、対象となる子どもの個別の状況の変化や、子どもに対する職員の援助を振り返ることができるような記録になっているかということが大切です。

### 6-3-3

## 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

### 【評価項目のねらい】

子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか、日々の子どもの変化等をどのような方策で共有化し、活用しているかを評価します。

|   |  |
|---|--|
| 1 | 育成支援の計画の内容や記録を、職員すべてが共有し、活用している              |
| 2 | 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で送り・引継ぎ等を行っている |
| 3 | 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている    |

## 項目解説書より

- 『育成支援の計画や子どもの状況などの記録』を、『サービス提供に関係する職員が共有』し、その『情報を活用しながらサービス提供を実施できるしくみを定め』、『実施しているか』を確認します。
- 『子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報』については、『軽微なものを含め的確に把握できるしくみ、その子どものサービス提供に関係する職員間で申し送り・引継ぎ等を行うしくみ』を『組織として定め』、『どのように実施しているか』を確認します。
- 開所時間前には、職員間で当日の取組内容や一日の過ごし方について確認するとともに、子どもの状況(出欠席の予定、前日の出来事の中で共有しておくべき事項等)について共有することが求められます。1日の終わりには、短時間でもその日の状況と申し送りの必要な事項等を確認する打合せをすることが必要です。

以上で 講義4-①は終了です。  
講義4-②に進んで下さい。

